

-----8月13日-----

2018年

## ※ 今週のアウトルック (8/13~8/17)

先週は、クロス円を中心に円高が進みました。

金曜日に発表されたトランプ大統領のトルコへの関税政策により、トルコリラは急落しました。他の通貨ペアも軒並み円高が進み、特に欧州通貨ペアの下落が顕著です。

今週は、米国とトルコが対立を深める中、リスクオフ的な動きがどの程度進むのかが、まずは注目されます。

先週のドル円は、111円中盤付近から110円台後半へと徐々にレンジを下げています。

今週は、110円中盤付近のサポートラインを抜けてしまうと、109円台中盤まで下落する可能性が高くなるように思います。

ただ、政治的な要因で下落基調になっているため、打開策などが発表されるようなことがあれば、一気に反転する可能性も想定しておく必要はありそうです。

ドル円の予想レンジは109円から112円です。

ユーロ円は先週、トルコリラ下落の影響を受けて、週末には一気に126円台まで下落しています。

今週は、米国とトルコの問題に何らかの解決策が示されない限り、125円付近のサポートラインまで、下落する可能性は高そうです。

また、このサポートをブレイクされてしまった場合には、122円付近までの急落も想定しておく必要があるように思います。

ユーロ円の予想レンジは122円から130円です。

ポンド円は下落トレンド入りしてしまったようです。

今週は140円付近までの下落は避けられないように思います。

ポンド円の予想レンジは139円から144円です。

リスクオフ基調の要因が、トランプ大統領の関税政策に起因しているだけに、なかなか基調が変わるには時間がかかるかもしれません。

ただ、トルコが米国に対して何らかの和解策を出してきた場合には、一時的に反転する可能性はあるように思います。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。